



馬宮西小だより

No.7 令和元年度11月号
10月31日発行
住所 西区飯田新田189-2
電話 624-4041 FAX 624-2273
メールアドレス mamiyanishi-e@saitama-city.ed.jp

【学校教育目標】

まなぶ子・みとめあう子・やりぬく子

【みんなの合言葉】

にこにこ しっかり

吉野彰氏 ノーベル化学賞受賞

校長 あかぎ のぶとし
赤木 伸年

朝晩の冷え込みも厳しくなり、すっかり秋らしくなってきました。

台風19号による大雨等のため、延べ217名の方々が馬宮西小に避難されました。本校は緊急避難場所になっていますが、堤防決壊の恐れがある場合には、水害避難所として、①ふじみの市「上野台小」←(飯田新田・湯木)(馬宮団地・塚本)、②富士見市「鶴瀬小」←(馬宮団地・塚本)となっているようです。臨機応変に市内避難場所に避難することが大事ですが、避難される際には、食料と水(できれば寝袋等)を持参されることが望ましかったようです。今回の台風で本校の防球ネットが破損するなどの被害が出ましたが、市教委による児童聞き取り調査では被災により日常生活や学校生活に支障があったご家庭はなく安堵しております。全国の被災された皆様ならびにご家族の皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い再建をお祈り致します。

さて先月リチウムイオン電池を開発した吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞されました。小さくて軽い、それでいて大きな力が出せる夢のようなリチウムイオン電池は、ロケットやノートパソコン・スマートフォンなどIT機器の普及に貢献するだけでなく、「地球温暖化から地球を救う」という大きな可能性も秘めている大変素晴らしい発明です。電気を今より多く充電できるリチウムイオン電池の開発が進めば、天気によって左右される太陽光や風力による発電量の進展、今まだ長い距離を走れない電気自動車の更なる普及の可能性が期待されます。そんな素晴らしい発明ですが、「開発後の3年ほどは製品が売れず、この時が一番つらかった。」と吉野氏が語られています。とても素晴らしい発明ですら成果はすぐには表れなかったようです。あきらめないという強い意志の大切さを改めて感じます。また吉野氏は、「研究は専門的なことだけ考えてもなかなか答えが出てこない。関係のない分野にも関心をもつことが大事である。」と述べられています。吉野さんの趣味は、「歴史」で、大学時代には考古学のサークルに所属し、遺跡発掘に熱中されていました。「歴史を学ぶとは、過去からどう現在に至ったのかをひもとくものである。そうした考え方は、未来を考える手掛かりにもなり、研究に役立つ。」と思っているそうです。さらにインタビューで、夢を叶えるために大切なこととして、「親や先生に無理やり押し付けられて勉強するのではなく、未来の自分のために勉強してください。それまでに、いろいろな勉強や経験、エネルギーをいっぱいためて、大人になって爆発させてください。」と答えられています。

ところで吉野氏が、科学への興味をもつきっかけになった書籍として、月刊誌「子供の科学」(誠文堂新光社)と英国の科学者ファラデーの著書「ロウソクの科学」を挙げられています。小学生3、4年の時の担任教師から紹介され、「なぜロウソクが燃えるのか、ロウソクの芯は何のためにあるのかなど、身近な現象にひそむ「科学」を実験とともにわかりやすく解説された」名著を読みふけり科学を志すきっかけになったそうです。2016年にノーベル医学生理学賞を受賞した大隅良典氏も兄から贈られて同書を読み、科学に関心をもたれたそうです。吉野氏は、「同書を読んで、将来の研究者が生まれるといい。」と語られています。(令和元年10月17・24日発行『読売KODOMO新聞』一部引用)



10月の読書月間では、子どもたちは意欲的に読書に取り組むことができました。本は、知識を増やしたり、心を豊かにしたり、夢や希望を抱かせてくれたり、悩み事を癒してくれたりもします。11月から「ロウソクの科学」関係の本(3冊)が学校図書館で貸出できるようになります。私も子どもの時に読んだ覚えがありますが、ぜひ皆様も読んでみたらどうでしょうか?そして様々なジャンルの本に関心をもって読書に親しんでくれることを願っています。

～ 生活科・社会科見学 ～

去る10月7日(月)、2年生は公共施設の見学と路線バスの乗り方を学習するため、桜木図書館へ行きました。10月15日(火)には、1年生がびん沼自然公園へ徒歩で「秋さがし」に出かけ、どんぐりをたくさん拾ってきました。10月29日(火)には、3年生が観光小型バスに乗ってさいたま市内のロッテ浦和工場や見沼くらしく館を巡り、工場の工夫や昔のくらしについて学びました。



～ 就学時健康診断・5年生の活躍 ～

10月18日(金)、来年度入学予定の幼児14名が健康診断を受けるために来校しました。当日は、5年生が幼児を優しく誘導してくれたり、絵本の読み聞かせをしてくださいました。5年生のお手伝い、活躍のおかげで各検査・検診等がスムーズに進みました。今後もリーダーシップを伸ばし、最上級生となる自覚を高めていきましょう。



～ 馬宮中学校区「つぼみの日」～

10月24日(木)、6年生は路線バスを利用して、馬宮中学校を訪問しました。実際に中学校の授業や部活動を見学したり、中学生と交流をしたりすることで、中学校生活への具体的な見通しを持つことができたことでしょう。中学校進学へ向けて、心と体の準備を進めてください。

～ 学校保健委員会・走り方教室 ～

10月30日(水)、学校保健委員会を開催しました。コモディイダ陸上競技部の元監督である小林剛志氏を講師としてお招きし、「走るって楽しい!～正しい体の使い方を知ろう～」をテーマに全児童に実習指導をしていただきました。また、保護者の方を対象に、靴の選び方等についてもお話をしていただきました。



～ お・知・ら・せ ～

- ◇10月1日付配布文書「学校における電話対応について(お願い)」のとおり、11月1日から今年度末までを試行期間とし、全ての市立学校の電話対応を勤務時間内(馬宮西小8:15～16:45)に行うことといたしました。ご理解、ご協力をお願いいたします。
- ◇10月12日・13日の台風19号により、本校校庭西側の防球ネットが破損しています。土日休日等で校庭を使用される場合には、近付かないようにしてください。
- ◇11月1日は「彩の国教育の日」です。埼玉県では11月1日～7日を「彩の国教育週間」として学校・家庭・地域が一体となった取組を推進しています。
- ◇内閣府では、11月の第3日曜日を「家族の日」とし、その前後1週間を「家族の週間」と定めています。生命を次代に伝えることで、子育てを支える家族と地域の大切さについて国民の理解を深めることを目的としています。
- ◇11月1日～11月30日は、さいたま市秋季火災予防強化運動の期間です。これからの季節は特に、火の扱いに注意したいところです。

11月の生活目標 感謝の気持ちをもとう

11月 行事予定

日	曜	行	事
1	金	㊦㊧㊨	シェフ給食朝会 彩の国教育の日 地元シェフによる給食 教育長来校
2	土		
3	日		文化の日 火祭り
4	月		振替休日
5	火	㊩㊪	生活朝会 給食費等引落日
6	水	㊫㊬㊭	読み聞かせ 縦割り遊び
7	木	㊮㊯	駅伝大会(全学年 弁当)
8	金	㊰㊱	安全点検日
9	土		土曜チャレンジスクール 西区ふれあいまつり
10	日		西区作品展表彰式
11	月	㊲㊳	登校指導 駅伝大会予備日
12	火	㊴㊵	音楽朝会 PTA資源回収日 再引落
13	水	㊶	特別日課3時間(11:30下校)市教育研究会研修大会
14	木		県民の日 学校閉庁日
15	金	㊷㊸㊹	小中合同音楽会(3・4年 弁当)
16	土		PTAバザー
17	日		グラウンドゴルフ大会 家族の日
18	月	㊺㊻	
19	火	㊼㊽	感謝の会 食育の日
20	水	㊾	校内マラソン大会
21	木	㊿㊽	市内統一献立給食 クラブ活動 校内マラソン大会予備日
22	金	㊾㊿	PTA全体会
23	土		勤労感謝の日 土曜チャレンジスクール ノーメディアデー
24	日		
25	月	㊽㊾	
26	火	㊿㊽㊾	学級の時間 教育委員訪問
27	水	㊿㊽㊾㊿	教育相談日 西区理科教育研究発表会
28	木	㊿㊿	6時間授業(3・5・6年)4年校外学習
29	金	㊿㊿㊿	
30	土		

- ㊿朝の学習(イメージ・クロッケー) ㊿読書タイム
- ㊿計算タイム ㊿漢字タイム ㊿業間マラソン
- ㊿わくわくタイム ㊿集団下校 ㊿馬西っ子クラブ
- ㊿ICTサポーター来校日 ㊿スクールカウンセラー来校日
- ㊿スクールソーシャルワーカー来校日 ㊿さわやか相談員来校日
- ㊿小中一貫教員来校日 ㊿観察実験アシスタント
- ㊿PTA下校時見守り隊

地元シェフによる学校給食

11月1日(金)は、パレスホテル大宮総料理長である毛塚智之氏のご提案による、地場産物を活用した給食献立が提供されます。児童の「食」への関心と「味わう力」を一層高めることをねらいとしています。

当日は、放送給食委員の進行による給食朝会をはじめ、毛塚シェフや教育長、生産者との会食、感謝の会が予定されています。